

# 広報とうかい 人・自然・文化が響き合うまち Tokai

September [No.703]

9・10

Bi-monthly Magazine  
for The People of Tokai

2003年[平成15年]

## Contents [9月の主な話題]

●特集・村政懇談会……………2

村民の皆さんの声を  
村政に生かしたい！

●10月1日から戸籍等の届け出の際に本人確認を行います……………8

虚偽の届け出を未然に防ぐために

●2人の民生委員が交代しました！……………9

地域住民の立場に立った活動を行います

●ず〜むあっぷ「まちの風景」……………10

●青少年育成体験記(PART. 42)―[村松] 冨岡孝明さん……………12

明るく元気に

●今どきの青少年(VOL. 52)―[舟石川] 斎藤良太さん……………13

ボーイスカウトの活動を通して

●STATION GALLERY……………14

●図書館トピックス……………15

●いんふおめーしょん……………16

●わが家の子育て奮戦記……………20

[照沼] 中山宏美さん・朝陽くん



村民の皆さんの声を村政に生かしたい！

# 特集●村政懇談会

住民参加型の村政を目指して、村民の皆さんに東海村政の当面の課題と対応などを説明した上で、村長をはじめ村執行部と直接質疑応答する機会を設けるため、小学校区ごとに各コミュニティセンターで毎年開催されている村政懇談会。今年の村政懇談会では、昨年から実施されている行政と地域がより気軽に意見交換してもらうための地元区長などによる司会と地区委員会からの報告に加えて、新たに事前質問が取り入れられ、その質問に対する回答書の配布も行われました。今月号では、村政懇談会の中で皆さんから出された主なご意見やご要望などを中心にご紹介します。



## 東海村政の当面の課題と対応

行政4本柱（福祉・環境・農業・教育）

■福祉 東海村は現在、高齢化率（65歳以上の高齢者が総人口に占める割合）が15%近くになっており、7%を超える高齢化時代から14%を超える高齢時代を迎えているため、高齢福祉や介護福祉に対する需要が急速に増えてきています。また、一方では少子化も進んでおり、子どもを産んで育てることが難しい時代になってきています。村では、この少子高齢時代に対応するため、保健・医療・福祉の一体化を進めていこうと考えています。建設中の東海村総合福祉センター「絆」については、平成16年4月のオープンを目指し、内部備品の整備に取り組みとともに、今後どのように運用していくかについては、村内にユニットケア（利用者を10人程度のグループに分けて1つの生活単位とし、少人数の家庭的な雰囲気の中でケアを行うもの）を取り入れた質の高い民間の老人ホームが、平成17年度にオープンする予定になっていますので、その施設においてもデイサービスやショートステイなどのサービスを提供してもらおうと考えています。児童福祉については、村内には3つの村立保育所と2つの私立保育園がありますが、それぞれ基準受け入れ数の25%増の過密保育をしているのが現状です。この状況を解消するため、今年度はチューリップ保育園で30人の増員を図り、平成16年度には新たに2つの

私立保育園が開園することに伴う120人の増員を考えています。障害福祉については、総合福祉センターにおいて心身障害者の受け入れ数を30人から40人体制にするとともに、内容を充実させるために自立支援を目的とした新たな作業の取り入れを検討しています。村民の皆さんの最も強い要望として「東海病院の充実」がありますが、東海病院の移転改築計画の推進としては、4月に県に対してベッド数増床の申請を行い、一般病床50床と療養型病床50床の計100床を要求しているところですが、東海村が属している水戸医療圏の空きベッド数は115床しかなく、全体で約650床の要望がある中で、東海村の要求を受け入れてもらうには厳しい状況にあります。新病院建設のために最低50床は確保して、診療科目の充実や診療体制の整備などを図り、平成18年4月にはオープンしたいと考えています。外来診療体制の強化としては、4月に内科医2人の増員と診察室1部屋の増設を行い、患者の受け入れ態勢の充実を図りました。福祉体制の強化については、福祉部の組織改編や社会福祉協議会の職員体制の充実を図っていきます。

■環境 地球温暖化防止対策としては、地球規模で、特にヨーロッパを中心に炭酸ガスを減らす取り組みが進んでいます。日本でも真剣に取り組んでいく必要があることから、東海村では環境基本計画を策定し、今年度中に国際標準規格のISO14001認証を取得するために取り組んでいます。また、平成17年5月には環境

自治体会議（環境政策に熱心な74自治体から成るネットワーク）の東海会議の開催が予定されていることから、今年度から環境保全課の名称を環境政策課に変更し、環境政策を中心に取り組んでいます。

■農業 農業の持っている多面的な機能には、人間の命・健康の源である食、自然・景観の保持、子どもの教育に与える影響、高齢者の健康の維持などがあります。村では、農業の維持・再生を推進するため、今年度から経済課に地域農政係を新設し、地産地消の推進、有機・減農薬・減化学肥料栽培の支援、休耕地・放棄地の対策、就労希望者の支援などの政策に取り組んでいます。

■教育 昨年、学習指導要領が改訂となり、完全学校週5日制などが導入されたことに伴う自治体裁量枠の拡大と教育の自由化への対処として、村では、幼保の一元化、幼小・小中の一貫教育・相互乗り入れについて、十分に検討しながら取り組んでいきたいと考えています。また、大強度陽子加速器施設の設定に伴う国際化に対応できる教育体制の検討も進めています。小学校の改築問題がありますが、現在建て替え工事が進められている石神小学校については、10月に竣工し、3学期が始まる平成16年1月から開校する予定になっています。また、白方小学校については移転改築についての方針が決定しました。

地方分権の流れの中で、全国的に市町村合併

の気運が高まってきていますが、今のところ東海村ではその気運があまり感じられません。合併問題には、財政問題と行政能力問題がありますが、東海村は両方の力を十分に持っていると思っています。今、合併に多くの精力を費やすよりも、必要な行政需要に対して精力を費やす方が重要だと考えていますし、行政は住民と一体となって進めていくことが基本であり、合併して大きくなることよりも顔が見えるきめの細かい行政サービスをすることが大切だと思っています。平成14年3月に東海村地域活力懇話会から提言のあった自治会制度創設の検討については、自治能力を高めるとともに、住民参画を推進するため、40数年前につくられ時代に合わなくなってきた区制度を見直し、自治会制度に移行するための検討を区長の方々とともに進めています。

将来構想 ～高度科学研究文化都市への道～

世界的に注目されている大強度陽子加速器施設が東海村に設置されることを契機として、名実共に世界の東海村にするため、高度科学研究文化都市を目指していこうと考えています。現在、とりわけ女性の視点を生かしながら考えていく「レインボーLプラン」策定委員会において、東海村に来た外国人研究者やその家族などにも住みやすい、外国の研究都市に見劣りしないまちづくりを目指した検討が進められています。また、国際・総合大学院の誘致や外国人子女の教育環境の整備についての検討を進めていこうと考えています。

各会場での地区委員会報告と質疑応答

▽石神小学校区



■日時 7月10日(木) 午後7時～9時  
 ■場所 石神コミュニティセンター  
 ■対象 外宿1・2区、内宿1・2区、竹瓦区の住民  
 ■参加者数 65人

地区委員会からの報告(宮本茂委員長)

石神コミュニティセンターと連携を図りながら、環境部会としては各家庭での生ごみの処理方法等のごみ減量化作戦の展開などについて、歴史部会としては石神城址などの歴史を学んだ上での石神城址公園を中心とした地区の活性化などについて、福祉部会としては「いきいきサロン」づくりの推進などについて、地域の皆さんの協力を得ながら取り組んでいきたいと考えています。

主な質疑応答内容

▽根本さん(竹瓦) 久慈川の堤防の強度について、東海村側の堤防は500ミリの降水量に耐えることができ、日立市側の堤防は300ミリまでしか耐えることができないと聞いています

が、実際はどうなのでしょう。また、昔は八溝山周辺に降った集中豪雨が約4時間で竹瓦に到達するといわれていたことから、久慈川で遊んでいる人たちを避難させるための目安にしていたのですが、山の木も少なくなり道路も舗装されている現在では、竹瓦に到達するまでの時間が短くなっているのではないのでしょうか。併せてお聞かせください。

▼村長 久慈川の榊橋の危険水位は川面から7・8メートル上がったところであり、十分に耐え得る堤防であることから、久慈川の堤防の工事、水防・洪水対策は終了しているというのが国土交通省の考えです。村では、洪水はらんによる浸水危険区域の表示やその際の避難所など、災害対応のためのさまざまな情報をまとめた「東海村洪水ハザードマップ」を間もなく皆さんにお届けする予定になっています。大子町に降った雨が東海村に到達するまでの時間については、ハザードマップを見る限り、以前と変わらず4時間程度になっています。

▼富永さん(内宿1) 行政の基本は地域住民であるということですが、計画の策定だけに住民が参画し意見を出しているだけでは意味がないと思いますので、住民自らが進んで参画するための施策についてお聞かせください。

▼村長 住民参加、住民参画といっていますが、さまざまな委員会の委員として公募により住民の方々に参画していただくだけではなく、自治会をつくり、自分たちの身近な問題については自治会で政策を立てて解決し、行政の手を借り

なければならぬ問題については意見をまとめて要望するという形にしていき、最終的には予算と権限を委譲していきたいと考えています。この形までいかなければ、実際の意味での住民参画はできないと思っています。

## ▽村松小学校区



■日時 7月11日(金) 午後7時～9時  
 ■場所 真崎コミュニティセンター  
 ■対象 真崎区、舟石川3区、原電滝坂区、原研荒谷台区の住民  
 ■参加者数 80人

### 地区委員会からの報告(須藤佐武委員長)

住民が積極的に地域づくりに参加し、自分たちの住むまちを自分たちで住みやすくしていくことが重要であるという共通の考えを持った委員全員が、今までに9回の会合を開いて検討した結果、①地域の連帯意識の向上②環境美化・保全の推進③人材登録の制度化の促進④高齢者の健康づくりの推進⑤遊歩道(ウオーキングロード)整備の促進⑥完全学校週5日制と地域教育力の活用の推進⑦地域の各種団体の協調・連携の推進⑧「この地区に住んでよかった」と思えるまちづくりの推進——の8つの取り組みを

打ち出しましたので、地域の皆さんの手を借りながら進めていきたいと考えています。

### 主な質疑応答内容

▽皆川さん(舟石川3) 先日の『福祉だより』の中に、大洋村では高齢者の体力づくりに関する取り組みをすでに実施しており、成果を上げていると掲載されましたが、総合福祉センター内に指導員を配置し、水中運動などのさまざまな運動メニューを実施していく予定があるのかどうかについてお聞かせください。

▼福祉部長 大洋村では、筑波大学との共同プロジェクトにより、高齢者の体力づくりに筋力トレーニングを加えた健康増進を進め、成果を収めています。東海村では、総合福祉センター内に筋力トレーニングの場を設け、寝たきりにならないための健康づくり事業を推進していくことが決定しており、現在、どのように推進していくかについての検討を進めています。水中運動については、笠松運動公園内の屋内プールを利用した健康づくりを9月から実施できるよう進めているところです。

▼遠藤さん(原電滝坂) 現在の東海病院は待合室が狭く、具合の悪い方が立っているという状況もありますので、新病院が完成するまでの間に増改築が予定されているかどうかについてお聞かせください。

▼病院事務局長 診察室1部屋を増設するのがやっとの状態であり、これ以上増改築をしますと病院が機能しなくなってしまうので、ご理解ください。

▼助役 現在、東海病院には病院を開設した当時の倍の患者数である1日平均約300人が訪れており、待合室はどうしても狭くなっている状況です。患者数に比べて医者の数が足りないという指摘などがあつたことから、4月に内科医を2人増員し、診察室を1部屋増設しました。新しい病院が完成するまでには、土地の造成や建物の建設などがあり、どんなに急いでも3年間かかってしまうことから、その間、皆さんにはご不便をお掛けしますが、立派な病院をつくりたいと思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

## ▽中丸小学校区



■日 時 7月17日(木) 午後7時～9時  
 ■場 所 中丸コミュニティセンター  
 ■対 象 押延区、須和間区、舟石川中丸区、  
 原研長堀1・2区、緑ヶ丘区、南台区の住民  
 ■参加者数 40人

### 地区委員会からの報告(須田秋夫委員長)

中丸地区内散歩マップ「緑を歩く」と「古道を歩く」の2種類を作成しました。また、中丸の緑を守ることを目的としたボランティアを募集しており、現在6人に入会していただいでい

す。その協力を得ながら、須和間霊園の突端の所にある下諏訪古墳群地内の草刈りや倒木の整理を実施するとともに、中丸小学校のビオトープ(野生生物が共存共生できる生態系を持った場所)「蛍の郷」の造成を開始しました。さらには、中丸コミュニティセンター内に地区委員会のPRコーナーを設けて活動状況の報告等も行っています。今後は、中丸コミュニティセンターの行事等に積極的に参加するとともに、ビオトープの完成目標を5年間とし早期完成を目指していきます。また、このビオトープを拠点に地権者や村の協力を得ながら休耕田と傾斜緑地の自然公園化を図っていきたくと考えていますので、地域の皆さんのご協力をお願いします。

### 主な質疑応答内容

▽花見さん(舟石川中丸) 村内には、事情により若くして企業をリタイアした方が大勢います。村の実力をアップさせるためにも、そのような方にいろいろと協力してもらえよう門戸を開放していただきたいと思ひます。また、若いうちに海外で1年ぐらい生活すれば、世界的視野が広がり人材育成に相当寄与すると思ひますので、村には、若い人をどんどん海外に派遣するための発進基地になっていただきたいと思ひます。さらに、NPOについての村の考えをお聞かせください。

▼企画総務部長 門戸を広げることについては、例えば、現在「レインボーLプラン」策定委員会において、研究機関、国際交流、男女共同参画などさまざまな分野に関心を持って活動し

ている22人の委員が、外国人にとって暮らしやすい東海村をつくるため、日本語・情報、生活支援、交流・住民意識の3つのグループに分かれ、いろいろな所に向いて調査や聞き取りなどを行います。NPOについては、残念ながら東海村は遅れています。現在活動しているボランティアグループを育てることによりNPOについてさらに研究しながら立ち上げていきたいと考えています。

▼村長 企業リタイア組については、重要な人材であると考えています。村では住民とのコラボレーション(協働)を掲げていますが、今後は門戸を上手に開く方策を考えていきたいと思ひます。海外派遣については、姉妹都市交流だけでは十分ではありませんので、今年海外への視察研修ということで、6月には環境の分野で職員と村民をデンマーク、スウェーデンに派遣しましたし、9月には福祉の分野で職員をデンマーク、スウェーデンに派遣する予定になっています。県などの海外研修に参加することも決して悪くありませんが、村では、職員にもっと目的意識を持って勉強してもらい、審査した上で海外研修に派遣したいと考えています。NPOについては、NPOや住民サークルなどの団体に行政の一部を有償で委託していく必要があると考えていますし、それによつて初めて質の高い行政といえるのではないかと思っています。

## ▽照沼小学校区



■日時 7月18日(金) 午後7時～9時  
■場所 村松コミュニティセンター  
■対象 宿区、照沼区、川根区、晴嵐  
庄区、サイクル機構太田・箕輪区の住民  
■参加者数 54人

地区委員会からの報告(照沼忠徳委員長)

昨年8月には県立歴史館の宮内教男さんを講師に招いて、村松地区の歴史に関する講演会を開催しました。83人が参加し大変好評だったことから、引き続き開催していきたいと考えています。昨年11月には地区内のクリーン作戦を実施し、約300人の協力を得ることができました。また、委員が実際に地区内の道路を歩きながら危険箇所を調査する「バリアフリー調査ウォッチング」を実施し、23個所の問題点を確認することができました。その調査結果については、役場に報告してあります。地区委員会は地域の皆さんの協力なしでは何も動くことができませんので、今後もご協力をお願いします。

### 主な質疑応答内容

▽照沼さん(照沼) 最近、長年続けられてきた照沼小学校の農業を生かした教育が注目され、

「素晴らしい学校である」という評価を受けています。村として、このような教育をきちんと位置付けるとともに、今後何らかの形で残すことはできないかを検討していただきたいと思えます。

▼教育長 普通、PTA会員数は児童数より少ないのですが、照沼小学校はPTA会員数が児童数の倍以上という熱心な地域です。そうした地域ぐるみの協力が、農業体験を生かした特色ある学校教育に現れていると思います。舟石川小学校や村松小学校では、ビオトープをつくるという特色のある教育を実践していますし、音楽教育やボランティア教育などを取り入れる学校もあります。ただ、小学校ごとに事情が違いますし、それぞれの地区にあった教育をしていけばよいのではないかと思います。

▽清水さん(宿) 敬老会の記念品が小学校のバザーに出品されており、高齢者にはそんなに魅力がないものなのかと疑問に思いました。近隣市町村では、市町村内であればどこでも使える千円分の金券を発行しているそうです。村でも検討してみたいかがでしょうか。

▼福祉部長 毎年、敬老会の記念品は担当者の頭痛の種になっています。どんな品物であっても、必ず要らないという人が出てしまいます。今年度の敬老会では、社会福祉協議会からは「あめ」と「ようかん」を進呈し、福祉課からは別な記念品を進呈することが決定しています。今後は財政的に整理するとともに、金券についても検討していきたいと思えます。

## ▽舟石川小学校区



■日時 7月24日(木) 午後7時～9時  
■場所 舟石川コミュニティセンター  
■対民 舟石川1・2区、船場区の住民  
■参加者数 55人

地区委員会からの報告(岩谷豊委員長)

地区内の各区の行事に参加するとともに、水神堂の整備やウォーキングコースの設定などに取り組んできました。水神堂を調査したところ、県の絶滅危惧種に指定されているサワギキョウが生育していることを確認できました。ほかにも貴重な植物が生育している可能性があることから、専門家による調査を村に依頼したところ、調査が実施され、その結果が報告書としてまとめられています。また、青少年育成東海村民会議舟石川支部の運動会のバザーに参加し、その売り上げの一部でイルミネーションを購入して舟石川コミュニティセンターの木に飾り付けを行いました。今後も地域の皆さんのご協力をお願いします。

### 主な質疑応答内容

▽小川さん(舟石川1) 糖尿病の勉強会に参加

したところ、糖尿病について詳しく説明されたビデオを見ることができ、大変参考になりました。今後は、このビデオを効果的に活用していただきたいと思っておりますので、地域の勉強会に利用したり、各コミュニティセンターに配置したりして、多くの方々に見てもらえるよう、大いに役立ててみてはいかがでしょうか。

▼福祉部長 村では、糖尿病の予防を推進するために、糖尿病の予防教室を開催しています。今後はビデオの活用を検討するとともに、各コミュニティセンターへの配布についても考えていきたいと思っております。

▼病院事務局長 東海病院には、4月に糖尿病の専門医である土橋健先生が就任していただいておりますので、住民の皆さんからの要望があれば、地域の勉強会などに行きたく思います。

▼椎名さん(船場) 全国の交通事故データによると、高齢者の事故と自転車の事故の合計件数が全交通事故件数の40%に達しています。村として、歩道の有無を調査し早急に対策を講じていただきたいと思います。

▼建設部長 平成8年から現在までに、21路線で約4千メートルの歩道整備を行っております。まだまだ整備をしていく必要があることから、現在は石神・舟石川・白方・照沼の4小学校区内の通学路を中心に整備を進めています。また、歩道を整備する際は幅を広くするだけでなく、傾斜や段差などをできるだけ少なくするように心がけています。

## ▽白方小学校区



■日時 7月25日(金) 午後7時～9時  
 ■場所 白方コミュニティセンター  
 ■対象 白方区、豊岡区、岡区、百塚区、亀下区、サイクル機構百塚区、豊白区の住民  
 ■参加者数 99人

### 地区委員会からの報告(皆川四郎委員長)

豊岡なぎさの森の問題について重点的に取り組んできました。都市計画課に依頼して2回の勉強会と現地調査を行った結果、専用の駐車場やトイレがない、ごみが散乱しているなどの改善すべき点が明らかになっています。地区委員会では、地域の中にある貴重な財産を大切に保存して次の世代に引継ぐため、地域住民としてどのように活動していくかということを検討した結果、「豊岡なぎさの森公園整備計画(案)」を打ち出しました。今後は、役場との連携を図り、地域の皆さんのご協力をいただきながら、計画の実現に努めていきたいと考えています。

### 主な質疑応答内容

▽沼田さん(白方) 60歳以上を対象とした健康づくり事業が多いですが、もっと若い世代を対象に健康づくり事業を行えば医療費も削減でき

ると思っておりますので、ぜひご検討ください。

▼福祉部長 村では、村民全体の健康づくりが重要だという考えを持ち、今年度「健康づくり推進計画」を策定します。60歳以上を対象とした健康づくり事業は、国と県からの補助金を使って積極的に進めています。若い世代には、40歳以上の検診やインフルエンザの予防接種などを実施していますが、「自分の健康は自分で守る」という考えの下、行政に頼らず、ウオーキングなどによる健康づくりを積極的に行ってもらいたいと思っております。

▽宮地さん(豊白) 最近、住宅やアパートが立ち並び、交通量が増えています。入り組んだ道路にもかかわらず、車はスピードを出して通りますので、徐行を喚起する道路標示や標識、バンピー道路などの対策をお願いします。

▼経済環境部長 一般生活道路である入り組んだ狭い道路の危険な個所に、状況を判断して案内表示等を設置することはできますので、環境政策課の交通係に、危険な個所をお教えいただきたいと思っております。

▼村長 今までは車を中心とした道路づくりをしてきましたが、学校の周りや生活道路などについては、ハンブ(凸状の段差)などをつくらせて車がスピードを出せない道にする必要があると思っておりますし、その検討を進めています。

## 問合せ

企画総務部自治推進課自治推進係(☎282局 1711 内線1341)

# 10月1日から 戸籍等の届け出の際に本人確認を行います

戸籍とは国籍および個人の身分関係を登録して公証するものです。近年、本人の知らない間に婚姻や養子縁組などの虚偽の戸籍届け出事件が全国的に発生しています。そこで、村では虚偽の届け出を未然に防ぐために、本人確認ができる証明書の提示をお願いすることになりました。

## 期 日

10月1日(水)から実施

## 対 象

戸籍届け出の当事者および代理人

## 本人確認を必要とする届け出

婚姻届、協議離婚届、養子縁組届、協議養子離縁届、転籍届などが対象となります。

## 本人確認が不要ない届け出

出生届、死亡届、裁判所および法務局で許可または判決を受けた届け出が対象となります。

## 本人確認の際に必要な証明書

運転免許証、パスポート、住民基本台帳カード、東海村民証など、顔写真を張り付けた官公署発行のものがが必要です。

## 本人確認ができないとき

当事者に対して、戸籍の届け出があったこ

とを郵送で通知します。

## 戸籍届け出の受理の日付

戸籍届を受け付けた日となります。

## その他

住所の異動を伴う転入・転出・転居および戸籍証明・住民票などの交付時にも本人確認をさせていただきます。場合もあります。

## 問合せ

福祉部住民課管理係 ☎282局1711 内線1122



## 「須和間霊園」現地案内会開催

永遠の安らぎの地を求めてみませんか。自由墓地と芝生墓地の区画を新たに設定し、さらにお求めやすい霊園となりましたので、ぜひご来場ください。

### 期 日

9月13日(土)・14日(日)

### 時 間

午前10時～午後4時

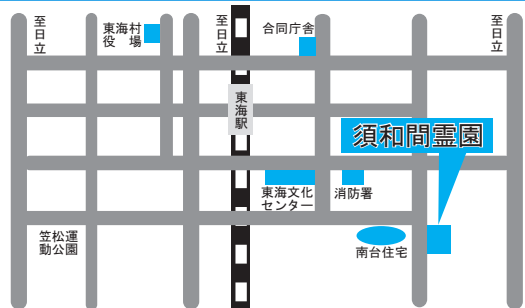
### 場 所

東海村公園墓地須和間霊園

### そ の 他

ご来場された方には、粗品を進呈します。

### 現地案内図



### 問合せ

(財)東海村開発公社 ☎284-0335



# 2人の民生委員が交代しました！

村で活動する民生委員・児童委員(以下民生委員)63人のうち、7月1日付けで2人の方が交代しました。新たに民生委員に就任したのは、サイクル機構団地を担当する吉岡正和さん(58歳)と、石神外宿2区を担当する宮本茂さん(63歳)。2人は、住民の皆さんの福祉向上のため、他の民生委員と連携しながら活動していくこととなりますので、皆様のご支援・ご協力をお願いします。

民生委員は、地域福祉向上のため昭和23年

に制定された「民生委員法」に基づいて厚生労働大臣が委嘱する民間の奉仕者で、「児童福祉法」による児童委員も兼ねています。住民の皆さんから寄せられる福祉関係のさまざまなご相談に応じるほか、役場や関係機関が行う調査への協力も、その任務としています。相談に関する秘密は厳守しますので、お近くの民生委員にお気軽にご相談ください。

●問合せ 福祉部福祉課地域福祉係 ☎ 282-1711 内線1166)

## 新任民生委員



**氏名**  
吉岡 正和さん  
**担当地区**  
サイクル機構団地



**氏名**  
宮本 茂さん  
**担当地区**  
石神外宿2区

## ご覧になりましたか？ 広報紙「民生委員とうかい」

民生委員・児童委員協議会(内田勤会長、以下民児協)では、この度、広報紙「民生委員とうかい」(第2号)を発行しました。この広報紙は、民生委員の活動内容を多くの方に理解していただくこと、民児協が昨年度から発行を開始したものです。第2号は、区長・組長さんを通して全世帯に配布しましたが、まだお読みでない方は福祉課ほか公共機関の窓口にも設置してありますので、各施設をご利用の際にお読みください。



## チャイルドシート お貸しします

チャイルドシートは、事故に遭遇した場合、事故時の衝撃を全体で分散して受け止め、子どもを全体を包み込むように保護することで、事故時の被害を最低限に抑えるシートです。現在、村ではチャイルドシート(ベビー用)の平成15年度貸出予約を受け付けていますので、ぜひこの機会に申し込みください。



### 貸出期間

10月6日(月)～平成16年3月14日(日)

### 対象

貸出期間内に出産予定の方およびおむね2か月未満の子を持つ親

### 費用

1000円/台(洗濯代など)

### 申し込み・問合せ

経済環境部環境政策課交通係 ☎ 282局 1711 内線1454)へ直接または電話で申し込みください。



## ●中世の製塩跡の発掘体験！

8月5日から7日まで、日本原子力研究所内の大強度陽子加速器建設予定地で発見された中世の製塩跡「村松白根遺跡」において発掘体験が行われました。これは、発掘体験学習に参加することで、中世の塩作りやこの地域の文化に触れるとともに埋蔵文化財への理解を深めてもらうことを目的に行われたもの。6日に参加した村内の小・中学生と保護者たちは、発掘作業が進んでいる製塩跡を見学しつつ中世の製塩方法などの説明を聞いた後に、汗びっしょりになりながらも土器や貝殻を見つけようと発掘を行いました。



## ●夏ばてに勝つ！ 沖縄料理を学ぶ

7月25日、中央公民館で「季節を楽しむ家庭料理」講座が開催されました。この講座は、季節の旬・地場産の食材を用いた家庭料理を学ぶために行われたもので、坂本禮子さん(管理栄養士)を講師として迎えた今回は、夏ばて予防に効果がある沖縄薬膳料理に挑戦。食材のほとんどは、当地にいる坂本さん知人の方から調達していただいた本格的な地場産のものばかりを使用し、参加者たちは額にうっすらと汗をかきながらも、本場の味を生かした料理に腕を振るいつつ、夏ばてに勝つための料理を真剣に学んでいました。

## ●落書き防止に壁画制作

8月19日、白方学区のすみれ子ども会(菊池敦子育成会長、児童20人)が、亀下から白方に向かう道路のメ切坂のコンクリート製の擁壁に壁画制作を行いました。これは、落書きで汚れている壁を子どもたちが楽しい絵を描くことできれいな道路にすることを目的とするとともに、落書き防止の啓発を兼ねたもの。金子陽之助さん(須和間在住)の指導により、子どもたちは大きなキャンバスに伸び伸びとチャレンジ。小さな画家たちが「山、海、夢」をテーマに描いた壁画は、メ切坂を通る皆さんに安らぎを与えることでしょう。



## ●威勢のいい掛け声に会場は大興奮！

8月2日、村松大神宮のみこしの会「大神宮一の宮会」が愛信会「第二幸の実園」を慰問しました。これは、障害を持っているためにお祭りの会場に足を運べない方々に、少しでも実際のお祭りの気分を味わってほしいということから、東海まつりに合わせて昨年からはじめられたもので、みこしの掛け声が威勢よく始めるとみな満面の笑みを浮かべ、会場は興奮のるつぽに！「皆さんに喜んでいただいとてとてもうれしいです。今後もこの活動を続けていきたい」と大上登喜男さん(一の宮会事務局長)は笑顔で話してくれました。



## ●民話を通してこの村を大好きになろう！

7月29日から3回に分けて「東海村の民話の紙芝居を作ろう」が中央公民館で行われました。これは、民話を通して村を大好きになってもらうとともに、子どもたち自身の手で紙芝居を作り上げることで、自主性を養ってもらうことを目的としたもの。参加した村内の小学生20人は、5グループに分かれて東海村民話再生の会(関村徹雄代表)会員の指導の下、個性あふれる紙芝居を次々に作成。「初めて出会う子どもたち同士で、協力して一つのものを作り上げるという達成感を味わってほしい」と関村さんは話してくれました。

## ●区民全員が楽しいひとときを過ごす

7月26日、サイクル機構百塚区納涼会が百塚原団地集会所で行われました。これは、人の入れ替わりが多いサイクル機構百塚区(綿引政俊区長 49世帯)の住民同士の融和と親睦を深めることを目的に始められたもので、この日もたくさんの家族連れが会場を訪れました。会場は子どもたちの笑い声で満ちあふれるとともに、大人たちも世間話に花が咲いて和気あいあい。その様子を眺めながら「この納涼会は、皆さんが常に楽しい時間を過ごせる納涼会であってほしい」と綿引区長は穏やかな表情で話してくれました。



## ●夏を味わう大イベント開催！

8月17日、舟石川コミュニティセンターで「第4回舟石川一区いきいき地域夏祭り」が実施されました。この催しは、同区(照沼卓郎区長、642世帯)が「いきいき地域活力助成事業」の一環として地域住民の親睦をより深めることを目的に行われているもの。会場は、輪投げ、スーパーボールすくいやくじ引き等に、子どもたちが幾重にも列を作って大にぎわい。今回は、盆踊り大会の太鼓の響きに小雨も誘われましたが、夏を味わうこの大イベントは、毎年、子どもからお年寄りまで幅広い世代に心豊かなひとときを与えます。

# 文芸とうかい

【俳句】

気心のおける同志やぬくかりし

村松 川崎 常義

まれまれに思い出すごと梅雨晴間

内宿 渡辺 あさ

両耳に光るピアスの涼しげに

舟石川 舛井 愛子

夕焼けに染まる野山に風吹ける

豊岡 中島エミ子

山百合の香り豊かな散歩道

外宿 西山 純一

夕風や大暑の空に梅雨ながき

舟石川 宮本 直

湖に夕風立てり露の臺

南台 助川 千代

日焼子の呆けし如く眠りけり

南台 渋谷めぐみ

蟬穴を覗きてをれば背を突かる

村松 松本 正勝

浜風に望月待つは月見草

白方 根本 武

明け易し夢か現つか短か夜や

村松 正木 幹夫

久々に訪ねし家の枇杷の門

舟石川 佐藤 とよ

枝先に飾る水玉小糠雨

白方 根本 怜子

風鈴や涼しき風の音伝う

船場 島中 睦子

【短歌】

朝早くうすくこめたる靄のなか友と歩いて良き汗をかく

白方 上野 光子

指導者からのメッセージ

少年育成  
主 育 体 験 記  
PART. 42



明るく元気に

東海村幼稚園PTA連絡協議会会長

村松 富岡 孝明

「明るく、元気に！」この言葉は、中丸サッカースポーツ少年団で指導員をしている私が、子どもたちに声を掛けるときの言葉です。サッカーが好きで集まってきた子どもたちと行うサッカーは、私にとつて大変楽しく、貴重な時間であり、その中で子どもたちとの会話をとても大事に考えています。

仕事でも幼稚園、小・中学校に出向く機会が多く、たくさん笑顔に出会うことができます。幼稚園に行くと園児たちは瞳をキラキラさせながら寄ってきて、友達のよ

うに私に話し掛けてきます。小学生は、ちよつぱり恥ずかしそうに寄ってきて、私が声を掛けると、うれしそうにいろいろ話をしていきます。中学生になると、さすがに生徒たちからは寄ってきてはくれないうで、私から声を掛けます。すると、みんないい笑顔で応えてくれます。

「今の子どもたちはコミュニケーションの取り方が苦手では？」などといわれていますが、子どもたちは、大人が思っている以上に話をしたいし、話を聞いてほしいと思っています。

完全学校週5日制になった今、子どもたちが家庭で過ごす時間が増えました。皆さん、どうぞ、お子さんとたくさん会話をしてください。そして、たくさん褒めてあげて充実した時間を過ごしつつ、子どもたちの持っている可能性をどんどん伸ばしていくってあげてください。それには、家庭ばかりではなく、子どもたちにかかわる多くの大人たちが、積極的に子どもたちに声を掛ける必要があると思います。

大人たちは、明るくそして元気な子どもたちをはぐくみ、子どもたちが、心身共に健全であってほしいと願っています。難しいことは言えませんが、私も子どもたちとともに成長していきたいと思えます。

「明るく、元気に行きましょう！」

梅雨前に農薬控えし梅の木に害虫多く青き実の  
落つ

照 沼 佐藤 昇

紫陽花の雨にうたれし花おもく晴れたる今朝は  
つゆひかりおり

舟石川 小川志つ江

幼稚園の園児ら今日は美しき花を持ち来て老い  
を励ます

船 場 中井川しげ

長き梅雨庭の植木の重たげにその葉しげれり雨  
にぬれつつ

船 場 村上より子

姪ふたりそれぞれ連れて来たる子に思わず頬よ  
すミルクの匂う

村 松 高橋 道子

夏草の生い繁る中目を止めし赤き小花ありそつ  
と移植す

外 宿 小林美代子

用もなき事と知りつつ老い我は今日も手に取る  
求人広告

外 宿 高槌 すみ

三回忌想いのひとつ三国志ひぎに抱かれて父子  
で見た日々

内 宿 村上 文江

夏祭り笛やたいこにさそわれて手と手をつなぎ  
輪になり踊る

豊 岡 中嶋 蘭

ポランティアの方に手引かれ黒羽の白額縁の紫  
陽花もとむ

舟石川 工藤和一郎

露草の可憐に咲けば紫の花を手折りに本にはさ  
めり

照 沼 藤井 幸雄

あるなしの風に風鈴ゆれておりつゆのくもりの  
肌寒き朝

内 宿 飛田 静峰

半夏生半夏半農と聞く吾は朝田に立ちて稲の伸  
び見る

船 場 舛井庫之助

慌てると素麺でさえ食べにくい

南 台 谷 ひろし

エッセー頑張る  
今どきの  
青少年  
VOL. 52



ボーイスカウトの活動を通して

水戸短期大学附属高等学校1年

舟石川 齋藤 良太

私は、小学校4年生のころから、ボー  
イスカウトを続けてきました。私が、ボー  
イスカウトを始めたきっかけは、子ども  
ときから持っていたぜんそくに良いとい  
うことからでした。

ボーイスカウトは入団するとすぐに「誓  
いと掟」という人間として大切なことを学  
びます。そして、活動は「誓いと掟」を実践  
する形で行われます。その活動内容は社会  
福祉からキャンプなどの訓練があり、ほか

にもジャンボリーという4年に1度のキャ  
ンプをする全国大会があります。

そのジャンボリーが昨年、大阪で行わ  
れ、私も茨城代表として参加しました。大  
会は、日本以外にもアジア・太平洋地域か  
ら多くのボーイスカウトが参加し、自分の  
野営地にもアメリカのボーイスカウト2人  
が入って一緒に行動をしました。

大会中の大阪の気温はとても高い日が  
続き最高気温が35度になった日もありまし  
た。そのような過酷な状況の中で活動をす  
ると、当然日射病等にかかる人も多く出  
てきます。しかし、厳しい条件の中で行った  
自炊や国際交流を通して、私はいろいろな  
ことを学びました。

例えば、人間関係です。過酷な状況だと、  
やはり人間なので不満や愚痴を言ったりす  
る人も出てきます。そこで、私は班の次長  
として、その人をなだめたり、不満を聞い  
たりしました。こういった経験が今後の生  
活にきつと役立ち、本当にボーイスカウト  
をやっている良かったと思う時が来ると思  
います。

今後の抱負は、キャンプなどはもちろん、  
地域への活動を通してボーイスカウトに入  
りたいと思っている方々を募集して、ボー  
イスカウトの人数をさらに増やしていくこ  
とです。

## 草の実人形展(宮内あや遺作集)

植物の葉、茎、花、種子を乾燥させ、自然の形、色をそのまま使用したものです。自然の材料が醸し出す素朴さと道端の雑草の種子が美しい模様となり、見る人に安らぎを与えてくれます。



9月28日(日) ~ 10月4日(土)

## 河野弘写真展「花」

季節が感じられ、いつまでも見ていたいような、また、いつかこの花を思い出してみたいような花を撮りました。どなたにでも気持ちよく見ていただきたいと思いますので、ぜひご来場ください。



9月14日(日) ~ 20日(土)

# STATION GALLERY

## 東海村子ども会育成連合会 (財)MOA美術文化財団 児童作品展



本年は、郷里かるたの中から「もぐり橋」です。香取橋の物語を聞き、子どもたちの思いのままを絵で表現しています。子どもたちの思い描いた素晴らしい感性を、ぜひご覧ください。※最終日は正午で閉館します。

10月5日(日) ~ 11日(土)

## 杉山由美子展



生きていくものは人でも花でも、時とともに微妙に変化していきま。だからこそ美しいのかもかもしれません。その一瞬を1枚でも画面にとどめることができたらと思います。油彩・水彩等約20点を展示します。

9月21日(日) ~ 27日(土)

傍

聴

席

平成15年第3回東海村議会定例会会期

期 日	開会時間	議会予定
9月3日(水)	午前10時	開 会
9月10日(水)	午前10時	一般質問
9月11日(木)	午前10時	一般質問
9月12日(金)	午前10時	一般質問
9月24日(水)	午前10時	議案審議

### 常任委員会

本村議会には左記の3つの常任委員会が設けられています。各委員会は、広範囲かつ専門化している案件などを能率的に審議するため、それぞれに委員定数や所管等が決められていて、請願の審査をしたり、本村発展のために提案を含め、諸問題を調査したりします。

※総務委員会：7人、文教厚生委員会：7人、建設経済環境委員会：8人。

### 議会の傍聴について

定例会の本会議は、傍聴券に住所・氏名・年齢等を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。また、車いす用のリフトも用意していますのでご利用ください。傍聴受け付けは、当日の午前9時30分から議会事務局(役場議会棟2階)で行っています。

### 問合せ

議会事務局 ☎ 282局 1711 内線 1281

ホームページ <a href="http://www.vill.tokai.ibaraki.jp/gikai/">http://www.vill.tokai.ibaraki.jp/gikai/ </a> 電子メール <a href="mailto:gikai.jimu@vill.tokai.ibaraki.jp">gikai.jimu@vill.tokai.ibaraki.jp </a>

## 図書館トピックス

心に残った1冊の本

『新宿鮫シリーズⅤ』大沢在昌作／光文社  
不夜城東京、新宿を舞台に孤独に凶悪事件と戦う警部鮫島。食らいついたら決して離れない地味だが確実な捜査は街中の犯罪者を追い詰めていく。巨大な警察組織の中で、自分の信じる道を孤高に貫こうとする姿をハードボイルドの巨匠大沢在昌がリアルに描いています。シリーズの中には何本かドラマ化されており、ご存じの方も多いかも。ノベライズを持つ力強さ、躍動感を読んで爽快です。

(書評／I・Yさん)

図書館からお願い

- ①本の貸し出し期間は2週間、CD・カセットは1週間です。返却期限を守りましょう。
- ②本などを借りるときは、「ご本人名義の利用カードを忘れないようにしましょう。
- ③館内では、他の利用者の迷惑にならないように静かにしましょう。
- ④携帯電話は禁止です。電源を切りましょう。
- ⑤保護者の方は、小さなお子さんから目を離さないようにお願いします。
- ⑥図書館の本は皆さんの財産です。本の破損や紛失に注意しましょう。

小学生のためのお話の集い開催

7月24日、小学生のためのお話の集いを開催しました。この催しは、子どもたちの本離れ

を防ぐ一環として、

子どもたちに本や紙芝居を楽しんでもらうことにより、

想像力や人を思い

やる心を養っても

らうことなどを目

的に行われたもの。

小学生や保護者な

ど約50人の参加者

は、たんぽぽの会

のメンバーによる

絵本・紙芝居・大型絵本の読み聞かせ・パネル

シアターなどを熱心に聞き入り、心豊かなひと

ときを過ごしたようです。

書評を書いてみませんか？

あなたのお勧め本の書評(250字以内)を「図書館トピックス」または館内で紹介します。原稿用紙は館内にあるものをご利用ください。

## 「たんぽぽの会」によるおはなし会

日時 毎週土曜日(第5土曜日除く) 午後2時～3時  
場所 おはなしコーナー  
内容 絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行います。

## 休館日

9月15日(月)・16日(火)  
22日(月)・23日(火)  
29日(月)・30日(火)  
10月6日(月)



## 国民年金 誕生日には だより 現況届の提出を

国民年金を受給している方は毎年の誕生日した月に現況届を提出していただきます。現況届は1年に1回、誕生日に提出していただく届け出で、ご自身が引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認するための大事な届け出です。現況届は誕生日の初めころに社会保険業務センターから送られてきますので、ご自身の住所・氏名や加給年金額対象者の氏名などを記入し、切手を張って社会保険業務センターに誕生日の末日までに届くようにお出しくください。

なお、ご自身では記入することができないために親族などの方が記入される場合は、受給権者の欄や加給年金額対象者の欄を漏れなく記入の上「代理人署名欄」に代筆者の氏名・住所などを記入してください。現況届の提出が遅れたり、提出されなかったときには、年金の支払いが一時止まることもありますので、ご注意ください。年金の支払いが一時止まった場合は現況届が社会保険業務センターに届いてから随時、止まった期間分をさかのぼって年金をお支払いたします。また、受けている年金の種類などによって、医師または歯科医師の診断書やレントゲン写真が必要な場合がありますので、ご了承ください。

問合せ

福祉部保健年金課国保年金係 ☎282局  
1711 内線1134

## 人口と世帯数

平成 15 年 8 月 1 日現在		
前月比		
世帯数	12,725 世帯	+ 27
総人口	35,120 人	+ 54
男	17,708 人	+ 30
女	17,412 人	+ 24

9・10号/お知らせ



### 母と子のサロン参加者募集

- 日 時 10月3日から11月21日までの毎週金曜日(全8回) 午前10時～正午
- 場 所 中央公民館
- 対 象 村内在住の0歳児(第1子)とその母親(先着15組)
- 参加費 無料
- 申し込み・問合せ 9月13日(土)までに、青少年育成東海村民会議事務局(青少年センター内)へ申し込みください。

### 募集

#### 東海高等学校開放講座(歴史)受講生募集

- 日 時 10月16日から11月20日までの毎週木曜日(全5回) 午後6時30分～8時30分※11月13日(木)は除きます。
- 場 所 茨城県立東海高等学校
- 定 員 40人(村内外を問いません)
- 受講料 無料
- 講 師 高橋裕文さん(茨城県立東海高等学校教諭)
- 内 容 講話「幕末と明治維新～自立と近代化を目指した人々～」
- 申し込み・問合せ はがきに住所・氏名・年齢・職業を明記の上、10月10日(金)までに、茨城県立東海高等学校開放講座係(鯉淵健次さん)(〒319-1122 東海村村松771-1 ☎282-7501)へ申し込みください。

参加費  
無  
料

### 「ビックウォークひたちなか2003」参加者募集

- 期 日 10月12日(日)
- 場 所 国営ひたち海浜公園(ひたちなか市) ※荒天の場合には中止となります。
- 対 象 1グループ2人以上10人以下で構成し、小学生以下は保護者同伴とします。
- 応募方法 9月30日(火)(消印有効)までに、往復はがきに①参加者全員の氏名・性別・年齢②代表者の氏名・性別・年齢・住所・電話番号——を明記の上、ひたち公園管理センター「ビックウォーク事務局」(〒312-0012 ひたちなか市馬渡字大沼605-4 ☎265-9001)へ申し込みください。
- 問 合 せ 茨城県企画部ひたちなか整備課(☎301-2778)

### 優良自動車運転者表彰対象者を募集

- 対 象 ①村内在住の交通安全協会会員②日常・業務・通勤などで自動車の運転に携わっている③平成15年10月1日現在で10年以上の運転経験がある④5年以上無事故・無違反で、今までに表彰を受けたことがない——のすべてに該当する方。
- 申し込み・問合せ 9月20日(土)までに、自動車運転免許証のコピー(余白に職業・勤務先・電話番号を記入)に、自動車安全センター(東茨城郡茨城町長岡3783-3 ☎293-8822)発行の無事故・無違反証明書(1通)を添えて、ひたちなか西地区交通安全協会事務局(ひたちなか西警察署内 ☎272-7526)へ申し込みください。

### 第22回IBARAKIウォークフェスティバル参加者募集

- 期 日 10月25日(土)
- 場 所 大和村「御嶽山から坂東24番札所へのみち」を歩いて自然に触れ合う約10.5キロメートルのコース
- 申し込み・問合せ はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記の上、9月30日(火)までに、茨城県自然歩道利用促進協議会事務局(〒310-8555 水戸市笠原町978-6 茨城県環境政策課内 ☎301-2946)へ申し込みください。



東海村役場	282-1711	東海村心身障害者福祉センター「はまざく」	282-4599
防災行政無線放送テレホンサービス	0120-42-4848	東海村(基幹型)在宅介護支援センター	287-2516
東海村合同庁舎(会議室の予約等)	283-3344	東海村在宅福祉サービスセンター	283-4344
東海村中央公民館	282-3329	東海村訪問看護ステーション	283-4836
東海村立図書館	282-3435	(社)東海村シルバー人材センター	282-3446
東海村青少年センター	282-7049	(財)東海村開発公社	284-0335
東海村総合体育館	283-0673	ひたちなか西警察署東海地区交番	287-0110
東海スイミングプラザ	287-0807	東海郵便局	282-2001
東海村テニスコートクラブハウス	282-8571	JR東日本東海駅	282-2008
東海文化センター	282-8511	常陸海浜広域斎場	265-7191
東海ステーションギャラリー	287-3680	救急病院の案内 救急医療情報コントロールシステム	241-4199
東海村立東海病院	282-2188	東海村消防本部・消防署	282-2038
東海村保健センター	282-2797	災害情報案内専用ダイヤル	283-4919
東海村清掃センター	282-7289	東海村石神外宿浄水場	282-9200
東海村老人福祉センター「みどり荘」	282-4300	(土・日曜日、祝日の断水等の連絡)	
(社福)東海村社会福祉協議会	282-2804	小・中・高校生のための心の悩み電話相談室	282-7070
東海村姉妹都市交流会館	282-0535	(毎週金・土曜日 午後3時30分～7時)	

## エトセトラ

### 「原子力防災フォーラム」を開催します

原子力安全モデル自治体に向けた取り組みとして、9月24日(水)から30日(火)までを原子力防災週間と定め、原子力防災に対する知識の啓もう・啓発に努めています。今回、原子力災害時の情報についてフォーラムを行いますので、ぜひご来場ください。

- 期 日 9月27日(土)
- 時 間 午後1時30分～5時
- 場 所 テクノ交流館リコッティ(JR東海駅東口前)
- 内 容 「原子力情報とマスメディア～信頼社会への取り組み」をテーマに、情報のあり方を通じて信頼できる社会をどのように構築するかを議論します。
- 問 合 せ 経済環境部原子力対策課原子力・防災係(内線1517)

### 平成15年住宅・土地統計調査が行われます

10月1日現在で、5年に1度の住宅・土地統計調査が行われます。この調査は、住宅の広さや建て方、敷地の広さや所有の関係、住まいの設備状況や住環境を調査する住宅・土地に関する大規模で最も基本的な調査です。知事が任命した調査員が調査票を持ってお宅にお伺いしますので、ご協力をお願いします。なお、調査内容を統計作成以外の目的に使用することは一切ありません。

- 問 合 せ 企画総務部企画財政課企画調整係(内線1335)

### ミュージアムパーク茨城県自然博物館 イベント参加者募集

#### 木を使った工作をしよう

木の性質や特徴を学び、その木の特徴を生かして、いろいろなものを作ります。

- 期 日 9月の毎週日曜日
- 時 間 ①午前10時30分～正午 ②午後2時～3時30分
- 場 所 博物館1階スタディールーム
- 対 象 主に小・中学生向け
- 定 員 各30人程度 ※応募者多数の場合は抽選となります。
- 参 加 費 無料(入館料別途)
- 申し込み 当日、スタディールーム前で開始1時間前から受け付けます。

#### 化石のクリーニング

栃木県塩原町にある約30万年前の地層から産出した岩石の中から木の葉や昆虫の化石を見つけ出します。

- 日 時 9月の毎週木曜日および第4土曜日 ①午前10時～正午 ②午後1時から3時
- 場 所 博物館野外の自然発見工房
- 対 象 小学3年生以上(各先着30人)
- 参 加 費 無料(入館料別途)
- 申し込み 当日、自然発見工房で受け付けます。

#### 動く動物のおもちゃをつくろう

- 期 日 9月27日(土)
- 時 間 ①午前10時30分～正午 ②午後2時～3時30分
- 場 所 博物館1階スタディールーム
- 対 象 主に幼児・小学生向け
- 定 員 各30人程度 ※応募者多数の場合は抽選となります。
- 参 加 費 無料(入館料別途)
- 申し込み 当日、スタディールーム前で開始1時間前から受け付けます。

#### 問 合 せ

ミュージアムパーク茨城県自然博物館(岩井市大崎700 常磐自動車道谷和原I・Cから20分 ☎0297-38-2000 ホームページ <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>)

## 「県庁舎ふれあい美術展」開催

水彩画の作品約50点を展示しますので、皆さんお誘い合わせの上、ぜひご観賞ください。

- 期 日 9月19日(金)まで ※土・日曜日、祝日は除きます。
- 時 間 午前9時～午後4時
- 場 所 茨城県庁舎11階アトリウム(水戸市笠原町978-6)
- 入 場 料 無料
- 問 合 せ 茨城県生活環境部生活文化課(☎301-2824)

## 9月の休日診療日程

診療時間 午前9時30分～正午、午後1時～2時  
問 合 せ 救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)

期日	病医院名	電話番号
7日(日)	東海病院	282-2188
14日(日)	東原クリニック	283-2301
15日(月)	東海病院	282-2188
21日(日)	尾形医院	282-4781
23日(火)	石井整形外科クリニック	270-5141
28日(日)	東海病院	282-2188

## 使用済み農ビ・農ポリを回収します

村では、産業廃棄物となる、使用済みの農ビ(農業用塩化ビニール)および農ポリ(農業用ポリエチレンフィルム)の回収を行います。

- 日 時 10月16日(木) 午前9時から
- 場 所 J Aひたちなか東海中央支店
- 費 用 登録料1,000円のほか処理費等が実費となります。
- 申し込み・問合せ 9月30日(火)までに、経済環境部経済課地域農政係(内線1435)へ申し込みください。なお、当日の受け付けはできません。

## 「障害者就職面接会」を開催します

厚生労働省茨城労働局と茨城県では、障害をお持ちの方の就職を促進するために、就職面接会を開催します。

### 水戸会場

- 期 日 9月26日(金)
- 時 間 午後1時30分～4時
- 場 所 クリスタルパレス(ひたちなか市大平1-22-1)

### 日立会場

- 期 日 9月25日(木)
- 時 間 午後1時30分～4時
- 場 所 国民宿舎「鶴の岬」(多賀郡十王町伊師640)

### 申し込み

最寄りのハローワーク(公共職業安定所)へ申し込みください(当日、会場での求人・求職の受け付け、相談も行います)。

### 問 合 せ

厚生労働省茨城労働局職業対策課(☎224-6219 FAX224-6279)

## 犯罪被害にあわれた方のための無料相談

- 期 日 9月26日(金)・27日(土)
- 時 間 午前11時～午後7時
- 内 容 心のケアや法律問題などについての電話相談(☎232-9155)・面接相談(水戸市民会館2階会議室)を行います。
- そ の 他 ①相談は無料です。②相談内容について、秘密は厳守されます。
- 問 合 せ (社)いばらき被害者支援センター(☎232-2738)

## ステップ利用で「地球温暖化防止」にも確かなステップ!

村では、地球にやさしいオフィス環境の整備の一環として、役場行政棟内に計2基あるエレベーターのうちの1基を8月から停止しました。

当面は村民の皆さんにもご不便をお掛けすることになりますが、限りあるエネルギー資源のためにも、ご理解とご協力をお願いします。

また、職員については、階段利用を励行する取り組みをスタートしています。多くの村民・職員の階段(ステップ)利用が、地球温暖化対策の確かな一歩(ステップ)につながるように努めましょう。

- 問 合 せ 経済環境部環境政策課環境計画推進係(内線1455)

## 平成15年度消防設備士講習会

- 期 日 ①消防設備(第1類・第2類・第3類)…10月10日(金)、11月13日(木) ②警報設備(第4類・第7類)…10月16日(木)・30日(木)、11月27日(木) ③避難設備・消火器(第5類・第6類)…10月22日(水)、11月7日(金)、12月12日(金)
- 時 間 午前9時～午後5時
- 場 所 水戸市民会館(水戸市中央1-4-1)
- 定 員 各先着110人(消防設備は各先着100人)
- 受 講 料 1講習区分につき7,000円
- 申し込み・問合せ 9月19日(金)(消印有効)までに、消防本部予防課に備え付けの申込書に必要事項を記入の上、(社)茨城県消防設備協会(〒310-0063 水戸市五軒町1-4-19 ☎226-9611)へ郵送で申し込みください。

## 「画家中村彝の全貌」展について

明治の終わり、日本の美術界にすい星のように現れ、輝かしい作品を残しながら、わずか37歳でその生涯を閉じた中村彝(1886～1924)の展覧会を開催します。

- 期 日 9月20日(土)～11月3日(月)
- 時 間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休 館 日 月曜日 ※10月13日(月)、11月3日(月)は開館し、翌10月14日(火)を休館します。
- 問 合 せ 茨城県近代美術館(☎243-5111)

## 第41回茨城県障害者スポーツ大会開催

- 期 日 10月5日(日) 午前9時30分から ※荒天の場合には、屋外競技を10月12日(日)に延期します。
- 場 所 笠松運動公園
- 競技内容 ①陸上競技(陸上競技場ほか) ②水泳競技(屋内水泳プール) ③アーチェリー競技(球技場) ④卓球競技(体育館) ⑤フライングディスク競技(補助陸上競技場)
- 問 合 せ 茨城県障害者スポーツ・文化協会(☎301-3375 FAX301-3379)

となりのまちから

## イベントガイド

### ひたちなか市 ● 産業交流フェア

- ◆日 時 11月8日(土)・9日(日) 午前10時～午後3時30分 ※雨天決行
- ◆場 所 ひたちなか市総合運動公園(ひたちなか市新光町49番地)
- ◆内 容 物産店、即売コーナーなどが多数出店するほか、太鼓や踊り、キャラクターショー、秋刀魚のつかみ取りコーナー、お楽しみ大抽選会など多彩なイベントが繰り広げられます。市民植木まつり、農産物品評会、みんなの消費生活展等も同時に開催されます。
- ◆問 合 せ ひたちなか市産業交流フェア推進協議会事務局(ひたちなか市経済部商工観光課内 ☎273-0111 内線408)

### 笠間市 ● 第5回笠間シティマラソン

- ◆日 時 12月7日(日) 受け付け…午前7時45分から 開会式…午前9時15分からスタート 午前9時30分から ※雨天決行
- ◆場 所 笠間芸術の森公園(笠間市)
- ◆参 加 費 一般・オープン参加・親子の部…2,000円 高校生…1,000円 小・中学生…300円
- ◆問 合 せ 笠間シティマラソン大会事務局(☎0296-72-9330 電子メールsogokoen@city.kasama.ibaraki.jp)

### 友部町 ● 第14回ふるさと友部まつり

- ◆日 時 10月25日(土)・26日(日) 午前9時30分から
- ◆場 所 友部中学校
- ◆内 容 模擬店、物産店、キャラクターショー、公開抽選会、花の展覧会など
- ◆問 合 せ 友部町産業振興課(☎0296-77-1101内線351)

## 「福祉の仕事 就職面接会2003」を実施

福祉関係の職場に就職を希望する方の就職活動を支援するため、就職面接会を実施します。

- 期 日 第1回…9月21日(日) 第2回…12月21日(日)
- 時 間 午後1時～4時(受け付けは午後12時30分から2時)
- 場 所 茨城県総合福祉会館(水戸市千波町1918) ※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 内 容 ①個別就職面接会…職員採用予定のある福祉施設の人事担当者が、すぐに就職可能な方および平成16年4月以降に就職を希望する方を対象に直接面接を行います(参加する方は履歴書を複数枚ご持参ください)。②職業適性診断…パソコン等により求職者の適性を無料で診断します。③求職登録・資格相談…福祉人材センター(無料職業紹介所)への求職登録をその場で受け付けます。また、福祉の仕事や資格についての相談に応じます。④資料閲覧…社会福祉施設等のパンフレット・広報誌等を閲覧できるほか、パソコンにより全国の求人状況が検索できます。
- 参加費 無料
- 申し込み・問合せ 申し込みは不要ですので、当日、直接ご来場ください。詳しくは、(社福)茨城県社会福祉協議会 茨城県福祉人材センター(☎244-4544 FAX244-4543)へお問い合わせください。

## 七会村 ● 山びこの郷まつり

開設20周年「山びこの郷まつり」が開催されま

- ◆日 時 10月26日(日) 午後10時から
- ◆場 所 七会村野外活動センター「山びこの郷」
- ◆内 容 地元の源太踊り、太鼓の競演、各種大道芸など
- ◆問 合 せ 七会村産業課(☎0296-70-7018)



村松幼稚園 ● 山本楓恋ちゃん

夏祭り

幼稚園の夏祭りに、お友達と一緒ににおみこしを担いだときの様子をかいてくれた楓恋ちゃん(5歳)。

「あたまの上にハチが飛んでいる“くまのプーさん”なの」と笑顔で話してくれました。

# ぼくの夢 Dream-30 わたしの夢



夢は…。 “コックさん”

村松小学校6年 ● 久保 茉理

私の夢は、コックさんになることです。その理由は、私のお母さんもコックさんだからということと、私自身、料理が好きだからということです。

自分で工夫し、考えながらおいしい料理を作って、家族や友達に、「おいしい!」と言われてみたいし、考えながら作ることで、今まで誰も作らなかった新しい料理を見つけることができるかもしれないという希望が、この仕事にはあると思っているからです。

でも、まずは学校で基本的な料理を身に付けて、少しでも夢に近づきたいと思っています。

今はまだ、お母さんや友達の力を借りているけれど、早くコックさんになって、今度は私がみんなに力を貸してあげられるようになりたいと思っています。そのためにも、たくさん勉強してこの夢をかなえようと思っています。

「ママ! 怒っちゃだめでしょ!」3歳になったばかりのわが家の息子・朝陽(朝陽)は、最近しかられると、ちよつと困った顔でこう言います。生まれたばかりの時も確かこんな顔していたなあと、私は思わず笑ってしまいます。朝焼けのきれいな夏の日に生まれた息子は、1歳を過ぎたころから怪獣としての本領を発揮しました。大きな声、ものすごい速さのハイハイ、高い所からのジャンプ、壊れそうにない物を上手にとしな息子と三輪車を両脇に抱え、家に帰るのが日課だったころもありました。姉妹で育った私には男の子のパワーは想像以上のものでした。

二人で散歩しながら落ち葉を拾ったり、咲いている花を見たり、そこに止まる蝶を追いかけたり、川で泳ぐ小魚にあいさつしたり、息子との散歩は子ども時代をやり直すような気がして、私にとっても楽しいものです。これからも息子と一緒に、母親としてゆっくり大きくなっていきたいと思っています。

こうして体が疲れてくるとイライラも増え、「しかる」ではなく単に「怒る」になってしまうことが多い。夜眠っている息子に「ごめんね」とつぶやくことも度々。そんなとき、私は少し遠い公園に息子と二人で「探検」に行くことにしています。これは、私にとって一番のリラックス法のように、怪獣のいたずらが、子どもの探究心

の表れに思えてくることも…。そんな怪獣にも人生最大のピンチが訪れました。保育園に通うことになったのです。3年間ずっと一緒だったのに、突然一日中親と離れて過ごすことは、想像以上のショックだったらしく、最初の数週間は、朝起きると同時に私にしがみついて泣き続け、大粒の涙を朝ご飯の代わりにする毎日でした。そんな泣き虫怪獣も今ではすっかり保育園に慣れ、今度は先生を困らせているようです。会話も一段と上手になり、お手伝いも自分からするようになりました。集団生活の中でいろいろと良い刺激を受けているのだなあと、うれしい気持ちの反面、私から少し遠ざかってしまったような寂しい気持ちです。

## わが家の 子育て奮戦記

表紙の「ひと」  
中山 宏美

